

バーチャル・ユニバーシティ

# 仮想大学

## 初年次セミナーへの招待

——受講生のレポートから見る初年次セミナー——



2012年  
仮想大学教務部

# 目 次

## 初年次セミナーとは

### 「模擬店から大学院まで——初年次セミナーは役に立ちます——」

(担当：井上浩一)

セミナーの紹介・・・・・・・・・・・・・・・・	1
受講生のレポート・・・・・・・・・・・・・・	5

……以下略……

## セミナー受講生によるひとこと集



# 模擬店から大学院まで

## ——初年次セミナーは役に立ちます——

井上浩一（文学部・西洋史）

### （１）初年次セミナーの効用

#### ①「先生！井上先生！、唐揚げひとつどうですか」

去年の大学祭、模擬店のあいだを歩いていると、声がかかりました。前期に初年次セミナーを受けていた商学部のA君です。困ったなと思いました。これから文学部西洋史、つまりうちの学生たちがやっている唐揚げの店に行く途中だったからです。こんなん買うて行ったらまずい……。でも、A君の明るい顔を見て、楽しかった授業を思い出し、やっぱり買うことにしました。少し先で、今度はやはり商学部のS君と出会って、またもや買い物、ようやく西洋史の店に到着しました。なにはともあれ言い訳です。「すまん、初年次セミナーの学生から買うてしもた。」初年次セミナーの教員と学生のつながりは、模擬店の売り上げを左右するほどなのです。

#### ②「ひょっとしてリュウネン？」「大学院にいます」

今年の初夏、法学部棟のエレベーターで懐かしい顔に会いました。初めて初年次セミナーを担当した時に受講していた法学部のIKBさんです。私の顔をまだ憶えていて、にこっと会釈してくれました。だいぶ前のことだなと頭のなかで計算したところ、（あれから4年、まだこんなところにいるのは）「ひょっとして留年」という科白が思わず出てきました。留年という言葉は飲み込んだつもりでしたが、聞こえたのでしょうか、IKBさんは「大学院にいます」と言いました。それはよかった。きっと初年次セミナーで大学での勉強法をしっかりと身につけ、勉強が面白くなって、大学院で研究を続けているのでしょう。自分に都合のよい想像をして、その日は一日良い気持ちでした。これも初年次セミナーの効用です。

### （２）初年次セミナーの内容

初年次セミナーは大学での勉強の仕方を学ぶ演習科目です。担当の先生によって授業の内容は少しずつ違いますが、レポートを書くという作業を通して、大学での勉強法を身につけるという点は共通です。私は2004年（IKBさんたちの学年）と2007年（A君・S君たちの学年）の2度担当

しました。授業内容を簡単に紹介しておきます。

### ①テーマの決定

私の授業ではレポートのテーマは本人が自由に決めます。どんなテーマでもかまいません。ただし、なぜそのテーマを選んだのかを、最初にみんなの前できちんと説明してもらいます。

### ②事前調査

学情の参考図書コーナーの辞典などを使って、そのテーマに関する予備調査をします。

### ③仮アウトラインの作成

レポートの大体の構成を考えてます。壮大な夢を描く人、つつましい計画になる人、どちらが良いとは言えません。それぞれの個性ですね。

### ④文献・資料の調査と収集

学情の端末室で司書の人から文献検索について指導してもらいます。そのあと自分のテーマに関する文献調査をします。

### ⑤文献・資料の読解

これは大部分が自宅学習です。初年次セミナーは授業に出ているだけで単位が取れるというわけにはゆきません。

### ⑥中間報告

ある程度まとまってきたところで、みんなの前でレポートの中間発表をします。発表時間はひとり10分くらいです。他の人の発表に対して鋭い質問をする人もいます。模擬店のS君もそのひとりでした。

### ⑦最終アウトラインの作成

中間発表でみんなの意見も聞いて、いよいよ執筆ですが、その前に詳しい目次を作っておきます。

### ⑧執筆

これも大部分は自宅学習です。書けた部分を提出して先生に見てもらいます。

### ⑨推敲

私の授業では推敲にかなり力を入れました。他の先生と一番違うところかもしれません。どうすれば読みやすくわかりやすい文章になるのか、実践訓練をします。提出した下書き原稿に入ってい

る先生の朱を参考にしながら、なんども書き直します。

#### ⑩仕上げ（参考文献表、形式）

見てくれの良いレポートにするためのコツを伝授します。ちょっとした工夫でレポートの点数が上がる場合があります。

#### 番外 反省会（？）

最後の授業のあと反省会という名の茶話会をしました。ただし、誰も反省はしません。大学院のIKBさんは「明日は私の誕生日です」と言って、みんなから祝福されていました。A君、S君は私のビールに付き合ってくれました。そういえば理学部のK君も飲んでたな、、、（浪人で4月生まれなら二十歳のはずですね）。

### （3）初年次セミナーの勧め

分厚い『全学共通科目シラバス・履修案内』にはいろいろな授業科目が並んでいます。先輩や友達の楽勝科目情報もあって、慣れない1年生は科目選択に迷いますね。あまり神経質にならずに、授業内容の紹介と時間割を見比べながら、適当に決めればよいと思います。ひとつだけポイントがあります。「初年次セミナー」をとりましょう。なによりも、大学での勉強の仕方がわかります。とくにレポートの書き方をきちんと学んでおくと、あとあとずいぶん助かります。おまけに、他学部の人といっしょに受ける演習なので、友達の輪が思わぬ方向へ広がります。

というわけで、初年次セミナーをやっておけば、4年間の学生生活が、レポートでも模擬店でもうまくゆくはずです。それどころか、大学院に進んでも、社会に出てからも役に立つでしょう。絶対にお勧めです。

最後に、学期末に提出されたレポートをお見せしましょう。紹介するのは、先ほどの法学部IKBさんの「政治家 菅原道真」です。あまりに長いので一部省略しましたが、表紙・目次を含めると21ページもある大レポートでした。長いだけではなく中味もしっかりしています。初年次セミナーをきちんと受講すると、1回生でもこんな立派なレポートが書けるのです。皆さんも挑戦してみませんか。

# 政治家 菅原道真

法学部1年生 IKBさん

## 目次

はじめに	1
1 章 道真のバックグラウンド	
1. 菅原氏	2
2. 道真の前半生	3
3. 讃岐守	7
2 章 律令制との決別	
1. 律令制の仕組みと問題点	10
2. 唐風律令制との決別	11
3 章 道真改革の全貌	
1. 土地制度改革	13
2. 超税制度改革	15
3. 財政監査制度改革	15
4. 抹殺された道真改革	17
5. 実行された道真改革	18
終わりにかえて	19
参考文献	20

……以下 本文略……